

**【施策評価調査】**

施策名	5-3-3	生涯学習情報システムの構築		120	生涯学習は、町民一人ひとりが自発的な意思により、自己の充実、啓蒙や生活の向上のため、適切かつ豊かな学習の機会を利用し、自分に適した手段、方法を選択し、一生涯をとおして行うものです。その実現に向け、様々な自然体験、社会体験、交流活動の機会を充実させる施策を実施するとともに、利活用面において日々進化しているインターネット技術等を媒介として、情報の検索、施設の予約等の環境を整備することにより、「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」学習に取り組み始める施策を展開します。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	教育部生涯学習課	担当 リーダー	社会教育担当 横塚恵子		
環境変化	近年、インターネットや携帯電話等、通信情報技術の普及・浸透が特に目覚ましい。				インターネットや携帯電話等を活用して生涯学習情報システムを構築し、生涯学習情報の充実、施設予約や料金支払いの省力化などを実現し、参加したい講座や教室を容易に受講できる仕組みを整えます。導入計画は、平成18年度協議、平成19年度にはソフトを開発し、平成20年度に導入します。（「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋）

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：生涯学習情報システムの構築進捗率(%)	平成16年度	計画	30%	60%	100%		
		実績	20%	50%	100%		
指標：申請件数(件)	平成16年度	計画			300件	800件	1,000件
		実績	0件		471件		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	指標471件は、システム登録件数です。						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	200,000	0	4,440,000		
	決算	415,800	0	3,410,261		

**事務事業事後評価 20年度の検証**

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
情報提供・予約管理システム構築事業費	当初 4,440,000	生涯学習情報システム構築進捗率(単位:%)	A	施設予約システムの導入により、いつでも施設の空き状況を検索し予約することが可能となり、自動抽選機能により毎月抽選会に出席する必要がなくなり、町民の利便性が図られた。また講座・イベント申込みシステムにおいては、随時最新の開催情報を発信することができ、生涯学習の機会を提供できるようになった。			
	決算 3,410,261			100% / 100%	今後の方向性(自己評価)	終了	今後の方向性(総合評価)
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初						
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

**施策事後評価 20年度の検証**

自己評価	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
	今まで電話や窓口で施設の予約や講座・イベントの申込みを行っていたものが、携帯電話やパソコンから気軽に、施設の予約や講座等の申込みまでできるようになったことで、施設の利用者や講座の参加者の増加が期待できる。	各施設ごとに運用方法が異なっているため統一することが課題である。使用時間枠や使用料、予約可能期間等、条例等の制限を受ける部分が多く、実情に合った内容にすることで、システムがさらに活かされ、料金収納処理や統計作業が効率的になる。また、懸案事項の町財務システムとの連動が可能になれば、納付場所が拡大され、職員の使用料収入処理の事務が限りなく軽減されるため、継続して検討する。今後も利用しやすい運用に改善し、利用の拡大を図りたい。
総合評価	積極的に施策展開されたと評価する。後期計画策定に向け、具体的な事業は終了とするが、システムを構築したことによる、効果については引き続き検証し、利用促進に向けた取組みなど、運用に係る検討は行うこと。	